

# よらねお小合

## 地域力と「コロナ禍」

小合地域コミュニティ協議会会長

阿部 繁

田んぼに水が入り緑一色になった。夏の「お祭り」はどうなるのだろうか。あと3か月もすればあちこちの集落で祭囃子が聞こえてくる。獅子舞などが奉納される。拙宅も集落の角地にあり「角地舞」が執行される。集落外から飢餓、疫病など侵入を防ぎ集落人の健康と安全を願う行事がくる。

新型コロナウイルスの感染が「燎原（りょうげん）」の火（野原に火が燃え広がり、手が付けられない様をいう）のように広がっている日本列島。そして、観光地は人気なし。上越新幹線を利用して新潟駅に降りた乗客の映像が報道された「自分の車両は一人だった」と言う。恒例の

田植えの応援や「早苗饗（さなぶり）」の飲食は控えること。などこれまでは想像できなかつたことが日々起きています。この3か月で世の中がひっくり返った。

コロナウイルスの感染が拡大してから耳に入る言葉の一つが「不要不急」である。すぐ思いつくのが医療、交通、食料などは必需品だろう。一方では、肺炎で死ぬかもしれないのに片方の脳が経済のことを考えている人間は不思議だ。

余暇は不要不急であろうか、個人消費約300兆円のうち観光、音楽、動画などで72兆円（2018レジャー白書）を占める。この消費行動がどのように変化するの

か私たちは「自粛」に耐えながら、アフターコロナを見据えなければならぬ。グローバル経済で膨らんできた生活であるが疫病の世界的規模の流行は文化や生活様式を変えることは歴史上明らかである。

感染症によるパンデミックは古代より見られ、大きな被害を与えてきたが新しい時代も切り開いた。年表で概観してみる。14世紀には黒死病（ペスト）がヨーロッパで大流行した。（ルネサンスの勃興）16世紀にはコロナスによってもたらされた天然痘が南北アメリカ大陸で猛威をふるった。（スペインの新大陸制覇）

20世紀に入り（大正時代）1918年から1919年にかけてスペインかぜ（インフルエンザ）が全世界で流行した。死者は約五千万人から一億人にものぼった。20世紀後半（1980）、後

発行者  
小合地域コミュニティ協議会  
(コミュニティセンター内)  
☎0250-25-2299  
発行人/阿部 繁  
編集/総務部

地域の人口動態  
令和2年4月末現在

世帯数	1,249 戸
男	1,778 人
女	1,882 人
人口	3,660 人

天性免疫不全症候群（エイズ）の患者が全世界で増大した。21世紀前半（2019）年12月以降、新型コロナウイルスによる急性呼吸器疾患（COVID-19）が中国の湖北省東部の武漢市から流行した。それまでは数世紀単位で発生していたパンデミックは近年多発している。自然との共生に異変のせいかな？原因の解明が求められる。

コミ協定期総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為書面表決としました。事業要旨

コミ協活動の基本は地域課題の実現に向けた取り組みとします。①コミ協組織は持続可能な編成にする②行事は実行委員会方式を追求する③そして「住みたい小合・住み続けたいふるさと小合」を地域標語として発信します。④新潟市の支援を受けて「全住民アンケート」を実施することができました。若

者の声も聴くことができずした。今後の小合づくりの基礎資料にしたいと思えます。特徴的行事として、⑦小合歴史と文化発掘資料づくり「コレ一冊でわかる小合の歴史と文化」づくり挑戦します。⑧「屋号入り小合の住宅地図」を作ります。小合も人の出入りがあります。「屋号」を覚えないとなかなか溶け込めません。屋号がわかると隣近所の関係が密になります。少子高齢化で自助共助がますます必要になります。嫁入り婿入り、そして転入者にもなじめる地域づくりに役立てたいと思います。

地域力は地域社会の体力です。体力があれば免疫力もつきます。「見えない敵」ウイルスは「塗ったばかりのペンキ」です。自宅の外はペンキ塗りたての世界です。触ると色（感染）がつく。「3密」を避け・手洗い励行・人との間隔を空ける・そしてマスク着用。コミ協と「自治会・町内会」が協働で一丸となり、大変な中ではあります。各種行事を実践することが地域力の向上につながることを確信します。

# 令和2年度 新役員体制が決まりました

新型コロナウイルスの感

染拡大防止対策のため、令和2年度代議員総会は執行部の作成した議案について全ての代議員による書面表決の形で行われ、議案書の全議案について承認されました。今年度は、役員の改選はありませんが、書面表決により役員、常任運営委員及び専門部員が承認されました。

## 【常任運営委員】

- 大 鹿 鈴木 弘英 (新)
- 栗 宮 井村 一雄
- 小戸上組 吉田 尊
- 小戸下組 井浦 博男
- 小屋場 早川 一夫 (新)
- 梅ノ木 渡邊 政行 (新)
- 浦興野 野瀬山幸治
- 川 根 古川 正之
- 出 戸 伊藤 次郎
- 子成場 四柳 太一
- 四ツ興野 細川富士雄 (新)
- 蕨曾根 小田 紀夫 (新)
- 大 秋 星野 政行 (新)
- 野 方 高橋 隆司 (新)

## 【地域見守り部】

【国道460号小合バイパス開通促進協議会】

各々、常任運営委員会を中心に運営する。

## 【専門部部长・副部长】

### 総務部

- 部 長 今井 康弘
- 副部长 高橋由美子

## 文化教養部

- 部 長 丸山 正昭
- 副部长 塩谷ゆう子

## 福祉厚生部

- 部 長 木村 文浩
- 副部长 加藤 幸子

## 防災環境部

- 部 長 皆川 和行
- 副部长 寺尾 一郎

## 保健体育部

- 部 長 高橋 和也
- 副部长 先川 剛

## 学校部

- 代 表 中野 民生

## 【コミュニティセンター管理職員】

- 指定管理者 阿部 繁
- 管理職員 阿部 繁

- 井浦 博男
- 稲月 正樹
- 野瀬山幸治
- 大竹 正剛
- 小林 禎一
- 加藤 直子

## 【秋葉区自治協議会】

- 委 員 古田 治

### 信濃川河畔（チューリップ発祥の地）に100種以上のチューリップが咲き揃いました

昨年11月3日（日）に「球根商用生産100周年」を記念して白井橋近くの農地にチューリップの球根184種1万5千球を植え付けました。中には原種のクルシアナシニアや、オウムのトサカに似た花を咲かせるアプリコットパレットなど、珍しい品種もあります。

今年の春には、花見や記念事業を予定していましたが、新型コロナウイルスの猛威と感染拡大防止のため一連のイベントは中止となりました。それでもチューリップは一斉に力強く開花していました。



## 【編集後記】

私達も、チューリップや小合の花の力を借りて新型コロナウイルスの終息まで頑張っていきたいと思います。(I)